別記様式第１５号（第４３条、第６３条関係）　　（記載例）

※　資料区分		※　受理警察署	（　　署）
※　受理番号		※　受理年月日	年　月　日
※　資格	１．警備員指導教育責任者　２．機械警備業務管理者		
※　種別		※　資格者証交付公安委員会	
※　再交付年月日		年　月　日	

※印欄は記入不要

警備員指導教育責任者 ~~機械警備業務管理者~~ 資格者証再交付申請書

警備業法 第２２条第６項 ~~第４２条第３項において準用する同法第２２条第６項~~ の規定により 警備員指導教育責任者 ~~機械警備業務管理者~~

不要文字は二重線で消す。

資格者証の再交付を申請します。

令和　〇〇　年　〇　月　〇　日

京都府　　公安委員会　殿

申請者の氏名

京都　太郎

（フリガナ） 氏　　名	キョウト　タロウ 京都　太郎	フリガナはカタカナで記入し、濁点は１文字と数える。 姓と名は１マス空ける。
住　　所	京都府〇〇市××町３番地３ 電話　（〇〇〇）〇〇〇－〇〇〇〇番	番地、マンション名等は略さず、正確に記入する。
生年月日	明治　大正　昭和　平成　令和　年　月　日 1　2　3　4　5　〇〇　〇〇　〇〇	
警備員指導教育責任者 ~~機械警備業務管理者~~	資格者証の番号　〇〇〇〇〇〇	
再交付を申請する事由	令和〇年〇月〇日、自宅での保管を確認していたが、令和〇年〇月〇日に自宅を改装し、その後の令和〇年〇月〇日に亡失していることに気付いた。	亡失や滅失の状況を簡潔かつ具体的に記入する。

（警備員指導教育責任者資格者証の再交付の場合）

警備員指導教育責任者資格者証に係る警備業務の区分	１号　~~２号　３号　４号~~

申請しようとする警備業務の区分以外の不要文字を二重線で消す。機械警備業務管理者資格者証を申請する場合には、この欄は記入不要。

記載要領

１　※印欄には、記載しないこと。
２　不要の文字は、横線で消すこと。
３　「再交付を申請する事由」欄には、亡失又は滅失の状況を記載すること。
４　「警備員指導教育責任者資格者証に係る警備業務の区分」欄中の「１号」とは法第２条第１項第１号の警備業務の区分を、「２号」とは同項第２号の警備業務の区分を、「３号」とは同項第３号の警備業務の区分を、「４号」とは同項第４号の警備業務の区分をいう。
５　所定の欄に記載し得ないときは、別紙に記載の上、これを添付すること。

備考

用紙の大きさは、日本産業規格Ａ４とする。